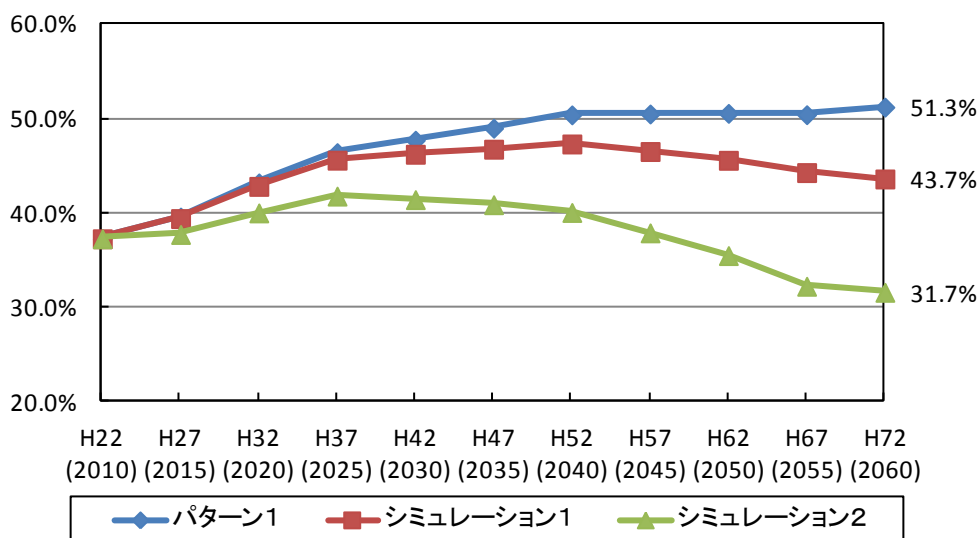


(3) 老年人口比率の変化

パターン1とシミュレーション1、2について、年齢3区分別人口割合を算出し、老年人口に着目すると、パターン1では増加傾向にある。シミュレーション1、2では、合計特殊出生率が上昇したと仮定していることから高齢化が抑制され、シミュレーション1では平成52年をピークに老年人口比率は減少していく。シミュレーション2では、平成37年をピークに減少に転じるが、平成67年からは横ばいとなる。

図 2.8 パターン別老年人口比率の推移



参照：国提供ワークシートからの推計値